

問 1. 「商品知識編」のねらいについての記述である。テキストの趣旨と異なるものを1つ選択しなさい。

- (1) 社会の変化に目を向け、幅広い視点から紙のあり方を勉強する。
- (2) 最終商品の役割・機能の知識に加えて、その商品を生む背景となるものを学ぶ必要がある。
- (3) 紙を単なる素材のひとつとして捉えた知識からこそ、多用なニーズに対応した提案が生まれる。
- (4) テキストで取り上げた知識は日々変化しているので、テキストで基本をマスターした後は自身で視野を広げる。
- (5) 実際に企画提案が可能なレベルの専門性を身につけることが必要である。

問 2. 「これからの商品知識」で述べられた文章である。テキストの趣旨と異なるものを1つ選択しなさい。

- (1) 相手の立場になって自分の営業活動を見直すことにより、いかにして自社の商品を売り込むことができるのかが見えてくる。
- (2) 得意先に対する効果的な企画・提案の第一歩は、ポスター・カタログ・チラシ等が企業のマーケティング活動の中でどう位置づけられているかを知ることである。
- (3) ユーザーは単に紙としての品質だけではなく、用途・使用目的にマッチした用紙選定のポイントや紙に関わる多くの情報を求めている。
- (4) 印刷業界では、電子媒体と併存するメディアミックスの時代に突入しており、モノとしての紙が商品の総てである時代は終焉した。
- (5) ビジネス環境の変化とともに紙商営業パーソンが身に付けなければならない知識の範囲も拡大してきている。

問 3. 印刷用紙に関する記述である。正しいものを1つ選択しなさい。

- (1) 新聞巻取紙は、その生産量や使用量が全洋紙の約 30%を占めることから独立分類になっているが、上質紙系の用紙である。
- (2) コート紙 (A2) は、両面で 40g/m<sup>2</sup>前後の塗料を塗布した用紙で、表面の光沢性によってグロス・マット・ダルに分けられる。
- (3) 印刷用紙Bは、化学パルプを原料とする薄く不透明度の高い紙で、辞書・六法全書・聖書などに使用される。
- (4) 上質紙は印刷・筆記用で、機械パルプだけで製造する。白色度 75%以上の紙には、漂白した白いパルプを用いる。
- (5) 微塗工紙はベース紙が中質紙系で、両面で 10 g/m<sup>2</sup>以下の塗工をし、鏡面仕上げを行う。

問 4. 紙に関する記述である。誤っているものを1つ選択しなさい。

- (1) 紙は J I S (日本工業規格)・経済産業省・日本製紙連合会などで分類定義され、紙と板紙に大別される。
- (2) 印刷用紙の中の塗工印刷用紙は、アート紙・コート紙・軽量コート紙・その他塗工印刷紙に分類される。
- (3) 印刷用紙Dは、白色度 55%前後で雑誌の本文などに使用される用紙である。
- (4) コート紙でキャストコーターで生産され、A2 コート並みの光沢と平滑性を有するものをキャストコート紙という。
- (5) 白板紙のマニラボールは、抄き合わされた板紙で、表裏の白色度が同程度の用紙である。

問 5. 板紙に関する記述である。空欄にあてはまる適切な語句の組み合わせを 1 つ選択し、文章を完成させなさい。

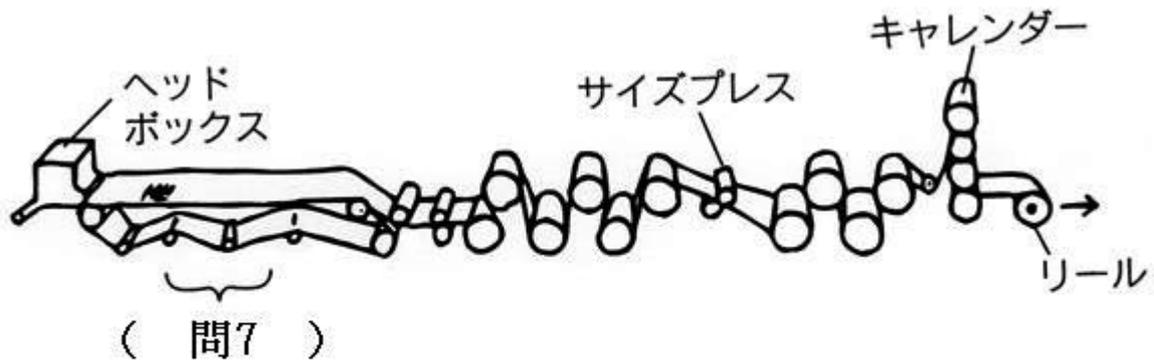
板紙の多くは、多層を抄き合わせてつくる。段ボール原紙・紙器用板紙・建材原紙・  
 ( A )・その他板紙に大別される。段ボールは、波形の段をつけた中しんに  
 ( B )を貼ったものである。また、( C )はクラフトパルプを  
 主原料とし、段ボールシートの表裏に使用される。

	A	B	C
(1)	クラフト原紙	ライナー	Cライナー
(2)	加工原紙	外紙	Bライナー
(3)	複写原紙	ロール	外層用ライナー
(4)	積層板原紙	ボード	Aライナー
(5)	紙管原紙	表紙	Kライナー

問 6. パルプの種類と略号の組み合わせである。誤っているものを 1 つ選択しなさい。

- (1) サーモメカニカルパルプ      ———      T M P
- (2) クラフトパルプさらし        ———      K P S
- (3) 溶解パルプ                    ———      D P
- (4) 碎木パルプ                    ———      G P
- (5) サルファイトパルプ         ———      S P

問7. 次の図は、抄紙機を示したものである。下の（問7）にあてはまる正しい語句を1つ選択しなさい。



- (1) ワイヤーパー部分
- (2) スクリーン部分
- (3) ドライヤー部分
- (4) ドクター部分
- (5) プレス部分

問8. 「紙の製造」で述べられた“調成”に関する記述である。下線部の語句で誤っているものを1つ選択しなさい。

調成とは、(1) パルプから紙料に仕上げる (2) 工程をいう。  
この工程では、叩解・(3) 含侵・サイズ剤などの薬品類の内添・混合・除塵・  
(4) 精選がある。  
叩解は、パルプの (5) 繊維を叩いたり、もみほぐしたりすることをいう。

問 9. ある印刷方式についての記述である。正しい名称を 1 つ選択しなさい。

この方式の原理には、水と油が混ざりにくい性質が利用されている。インキを付着させない非画線部を湿し水で湿らせておくことによって油性インキを弾く性質を持たせている。

- (1) 孔版方式
- (2) 凸版方式
- (3) 平版方式
- (4) 凹版方式
- (5) グラビア方式

問 10. 「印刷方式の種類と分類」で述べられた文章である。正しいものを 1 つ選択しなさい。

- (1) フレキソ印刷は、紫外線でインキを乾燥させる方式である。
- (2) 枚葉機の特徴には、小ロット対応や追い刷り対応のよさがある。
- (3) 輪転機の特徴には、厚紙対応が可能で損紙率が低いことがある。
- (4) UV印刷は、環境対応・残留溶剤対応の面から、医薬品・化粧品・食品分野などで採用されてきている。
- (5) 軽印刷用小型印刷機は、多色刷で部数が多く、高品質要求でないものを安く早く作るのに適している。

問 11. 「DTPでプリプレスが変わった」で述べられた、“DTPによるメリット”についての記述である。誤っているものを1つ選択しなさい。

- (1) 製版の材料が削減できる
- (2) デジタル印刷に対応
- (3) デジタルデータの蓄積
- (4) 印刷会社の付加価値向上
- (5) 製版工程の省力化が可能

問 12. 「フィルムレス時代の印刷」で述べられた用語の記述である。あてはまるものを1つ選択しなさい。

従来の紙のページをデジタル化し、レイアウトや書体をそのままの形で保存・通信・出力できる電子文書に使われるフォーマットである。

- (1) R I P                      (2) P O D                      (3) R G B
- (4) J P G                      (5) P D F



問 15. 「枚葉インキの乾燥」について述べられた文章である。文中の空欄にあてはまる適切な語句の組み合わせを1つ選択し、文章を完成させなさい。

枚葉インキは（ A ）、浸透乾燥の双方の機構でインキが硬化・被膜形成する。その過程は「レベリング」「蒸発・浸透」「セット」「乾燥」となっており、「セット」とは（ B ）状態のことをいう。

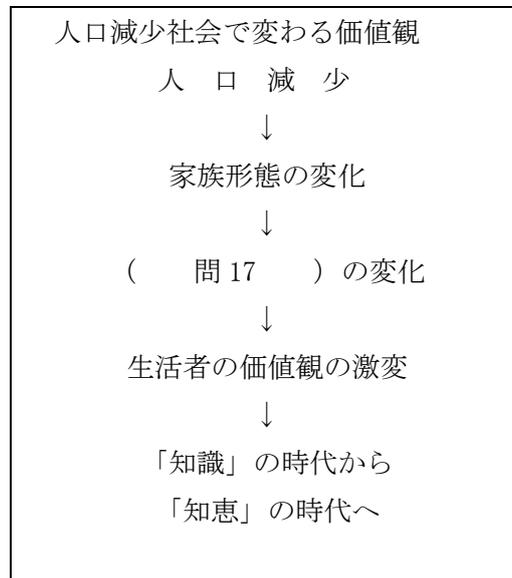
	A	B
(1)	蒸発乾燥	表面が滑らかになった
(2)	光重合乾燥	インキ内部が硬化した
(3)	酸化重合乾燥	表面のベタツキ感がない
(4)	光重合乾燥	色が沈んだ
(5)	酸化重合乾燥	表面に光沢が出た

問 16. 次の文章はある綴じ加工について述べた文章である。あてはまる名称を1つ選択しなさい。

本文の背の部分2～3mm程を回転刃で削り落としペラの状態にするミーリングを行い、背側に糊の浸透を良くするためのガリと呼ばれる1～2mmの刻みを入れて、背糊・横糊を塗布し、表紙をくるんで接着する。

- |           |         |
|-----------|---------|
| (1) アジロ綴じ | (2) 平綴じ |
| (3) リング綴じ | (4) 中綴じ |
| (5) 無線綴じ  |         |

問 17. 「人口減少社会で変わるマーケティング・パラダイム」で表記されている図である。空欄にあてはまる適切な語句を1つ選択しなさい。



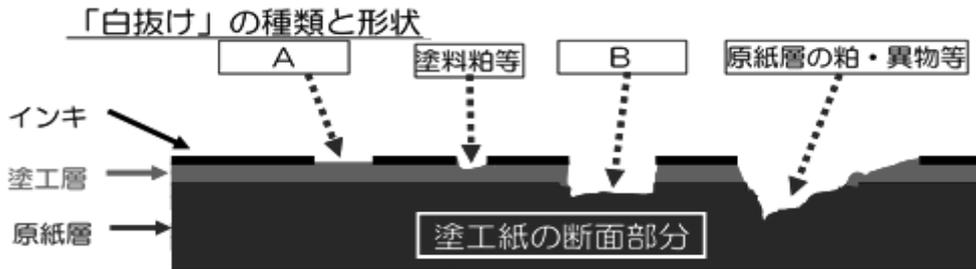
- (1) 卸売市場 (2) 競争市場
- (3) 海外消費市場 (4) 消費市場
- (5) ネット市場

問 18. ある用紙トラブルに関する記述である。正しい用紙トラブルの名称を1つ選択しなさい。

浸透乾燥型インキを使用した場合に発生しやすく、低粘度の油成分が印刷面の裏側まで浸透し、絵柄が透明感のある状態で見える。

- (1) モットリング (着肉ムラ) (2) ヒッキー (ブラン付着異物)
- (3) 白抜け (ピッキング) (4) プリントスルー (裏抜け)
- (5) パイリング

問 19. 「白抜け」での用紙トラブルの図である。空欄にあてはまる正しい語句の組み合わせを 1 つ選択しなさい。



	A	B
(1)	粘着化等	紙粉・異物等
(2)	ベッセル等	接着剤等
(3)	紙粉・異物等	ベッセル等
(4)	接着剤等	着肉不良等
(5)	着肉不良等	粘着化等

問 20. 「トラブル解消への対処法」で述べられた文章である。空欄にあてはまる正しい語句を 1 つ選択しなさい。

納期確認だけでなく、代替品・別ロット品の（ 問 20 ）・使用可否などの確認も必要である。印刷会社の協力も非常に大きく、最終製品を造り上げるために協働体勢を構築しなければならない。

- (1) 生産状況
- (2) 在庫状況
- (3) 価格交渉
- (4) 納品状況
- (5) 品質の違い

問 21. 「マーケティング・パラダイムの変遷」について述べられた文章である。誤っているものを 1 つ選択しなさい。

- (1) マーケット・インとは、売り手にとって、買い手との間で強い信頼関係を築くことである。
- (2) 売り手自らが信ずる提供価値を買い手に一方的に生産・販売していく方法をプロダクト・アウトという。
- (3) 自らの強みを磨くとともに、必要に応じて自社にない強みを外部から補強していくアライアンスは時間短縮のために有効である。
- (4) 「生産社会」とは新しい技術や産業の導入によって生産力が順調に増加し、社会全体が拡大基調にある時に現れる。
- (5) 紙商のパートナーの対象としては、供給パートナー・潜在パートナー・購買パートナー・組織内パートナーなどが考えられる。

問 22. 「紙商のマーケティング戦略」について述べられた文章である。テキストの趣旨に沿うものを 1 つ選択しなさい。

- (1) 印刷会社の顧客（発注者）は業種・業態が限られていて、同業種・同業態がメインである。
- (2) 紙商の商品である「用紙」は誰でも仕入れることができるので、商品の差別化や優位性の確立は容易である。
- (3) 商品広告・技術広告がしやすいが、企業広告に関しては差別化が困難である。
- (4) 単なる価格競争に陥らないためには、「価格」以外に「提案」「物流合理化」「情報提供の質と量」などの異なる土俵を持つことが必要である。
- (5) 人的販売は資材担当者で行うが、より受注を拡大するための営業活動の相手としても資材担当者に絞ることで、細かな営業活動が可能である。

問 23. 「マーケティングの 4P 戦略」である。誤っているものを 1 つ選択しなさい。

(1) Price (価格)

(2) Plan (計画)

(3) Products (製品)

(4) Promotion (販売促進)

(5) Place (流通経路)

問 24. 「統合化に向かうプリプレス技術の進化」で述べられた文章である。下線部の語句で誤っているものを 1 つ選択しなさい。

DTP の本格的普及で印刷業には(1) マイナス面が目立つようになった。(2) 細分化された作業工程毎に中間生成物 (版下・(3) 分解フィルム・集版フィルム) が作られ、単位毎に生み出されていた(4) 生産価値が工程の統合化・(5) 短縮によって著しく減少したことである。

問 25. 「印刷紙メディアの将来」で述べられた文章である。誤っているものを1つ選択しなさい。

- (1) 今後の課題は、従来の広告宣伝費用は一定のままで印刷媒体も電子メディアも作り、相乗効果で売上を押し上げる仕組みを作ることである。
- (2) 紙商の営業パーソンはクライアントがメディアや IT を使い、業務や管理を行うことを支援する。
- (3) 世界全体をみれば紙の消費を先進国で減らして、発展途上国にまわし、森林資源を守りながら印刷が継続できるシナリオを描くことができる。
- (4) 印刷産業が取るべき対応は、顧客のコミュニケーション活動をトータルに支援できる能力を持つことである。
- (5) WEB で成長した情報が印刷物になるように、デジタルによる情報の活性化は印刷にも良い影響を与えると考えられる。

問 26. 以下の文章は、増補版に述べられた「ちらし」の動向である。正しい文章を1つ選択しなさい。

- (1) 用紙のダウンサイジングが加速する一方、意外にも冊子型ちらしは30ページを上回るものが登場し、ちらしとしての総量を底上げするかたちとなった。
- (2) 新聞の購買者層を対象に無料配布サービスが浸透しはじめている。例えば『チラッシュ』は、関西を中心に40万人の会員を対象に配布されている。
- (3) 新聞の折込ちらしを出稿回数や広告費で捉えれば確実に減少を辿っているが、業種別の出稿格差は食品スーパー、不動産、塾・予備校、ネット通販等従来の割合を維持している。
- (4) ジオフィッシング化により、折込ちらしとの相乗効果が発揮され、特に曜日限定ちらしが増加傾向を示し、話題となった。
- (5) 日経新聞等の調査では、全般的に新聞購読者層は高齢者で高所得者層であることが分かっており、新聞広告よりも折込ちらしのターゲットとして有望視されている。

問 27. 下記の文章は、ちらしについての記述である。テキストの趣旨と異なる文章を1つ選択しなさい。

- (1) 広告メッセージは、様々なメディア（媒体）によって伝えられるが、新聞折込は不特定多数のターゲットに、幅広くメッセージを届けることができる。
- (2) ちらし企画の四原則は、①シンプルであること②わかりやすいこと③安さ感を出すこと④大義名分が必要の四つのポイントである。
- (3) 大部数のちらしはオフ輪での印刷となる。オフ輪では強制乾燥を行うため、用紙の含水率によってはヒジワ・ブリストア（火ぶくれ）・折割れなどが発生する場合がある。
- (4) 新聞折込では、地域・全国紙・地方紙・経済紙などを選択することによって、顧客層の絞り込みができる。
- (5) ちらし製作面から見た変化では、IT化により得意先の商品をデータベース化することで、販売価格だけではなく掲載商品も印刷直前に決定できるシステムになっている。

問 28. 「DM」について述べられた下記の文章の中で、誤りのあるものを1つ選択しなさい。

- (1) DMとは、ダイレクト・マーケティングとその手段であるダイレクト・メールを指す。
- (2) 日本ダイレクトメール協会と日本郵便の調査によると、EメールDMでは開いて閲読する人は5%、紙DMの開封後の閲読率は18.8%であった。こうした調査を基に双方の組み合わせによるプロモーションが始まっている。
- (3) 2018年のDM広告費は、テレビ、インターネットに次いで第3位で、折込ちらしより多い。
- (4) DMでよく使われるフォーマットは、はがきや圧着はがき、レター、サーキュラーレター、カタログ、カード、ポスター型、新聞型、巻き紙型など多種にわたる。
- (5) DMは複数の広告媒体を活用できる。その量・質を管理できるマス媒体の一つであり、正確に見込み顧客を捉えることができる強力な販売ツールといえる。

問 29. 下記の文章は、「カタログ」で述べられた文章である。空欄にあてはまる適切な語句の組み合わせを1つ選択し、文章を完成させなさい。

購入を検討するための資料としてのカタログは、テレビ・ラジオの放送系の広告やポスター・ちらしなどのプリント系の広告とは違って、それを必要とする消費者が（ A ）に見るものであり、単に情報を掲載するだけでなく、消費者がその企業の商品・サービスを選択したくなるような（ B ）を持った構成にする必要がある。

	A	B
(1)	参考的	肯定的意図
(2)	情報収集的	推奨的意図
(3)	能動的	戦略的意図
(4)	視覚的	誘引的意図
(5)	直観的	誘導的意図

問 30. 以下の文章は、増補版カタログの「関心や嗜好に応じた情報を求める消費者の意識変化」に記載された内容である。誤りのある文章を1つ選択しなさい。

- (1) 旅行会社のツアーパンフレットや出版社のガイドブックあるいは旅先案内のホームページだけでは物足りず、ネイティブな情報を求める傾向が強い。
- (2) Web サイトでは、観光パンフレットのお取り寄せが人気を呼んでいる。一方、出版社や旅行代理店のガイドブックの活用が高まっている。
- (3) 生活資材を購入する消費者のプロセスが変化している。カタログは購買を決定するための情報を収集する手段。こうした購買意識変化に乗じたのが Web でのカタログ請求フォームの展開である。
- (4) B to B と B to C とに分類する傾向が強くなってきており、一般向けと企業向けに分別したカタログが見受けられる。
- (5) カタログの請求フォームは、請求者の個人情報に配慮しつつ、アンケートに答えて送付するかたちを取っている。

問 31. ポスター・交通広告ポスターの種類とそのキーワードの組み合わせである。テキストの内容と誤りのあるものを1つ選択しなさい。

- (1) 屋外（街頭）ポスター — 掲示板やリースボード
- (2) 屋内（店頭）ポスター — ヨーロッパでは、広告塔が普及
- (3) 連・組ポスター — 「物語」や「シリーズ」
- (4) 額面 — 車両のまど上、ドア上、ドア横
- (5) 大型パネル広告 — Lボード、セットボード、メトロボード

問 32. 下記の文章は、ポスターについての記述である。テキストの趣旨と異なる文章を1つ選択しなさい。

- (1) ポスターとは「掲示する」という意味の「post」から来ており、広告や告知内容を掲示するための印刷物を指す。
- (2) 日本では、街頭の広告塔といった形のポスター用媒体が少ないため、駅構内や電車・バスの車内を掲示場所とする交通広告媒体が一般的である。
- (3) 駅構内あるいは付随する地下道などに掲出されるポスターを駅貼りポスターと呼ぶ。
- (4) ポスターは見る人に何かを訴えるための広告媒体である。芸術性が最優先され、デザイナーのモチーフや格調のある内容が要求される。
- (5) 交通広告ポスターの一つである中吊りは、乗客が最も見易い位置にあるので、交通広告の中でも最も強い訴求力を持つ媒体とされている。

問 33. テキスト及び増補版の「カレンダー」で述べられた文章である。正しい文章を1つ選択しなさい。

- (1) カレンダーは、一年間掲示されるという特徴を持ち、暦としての機能性の他、ビジュアル的なデザイン性と製品としての耐久性を求められる。例えば表面強度や寸法安定性は屋外ポスターと同等またはそれ以上の機能が必要となる。
- (2) 環境に配慮したカレンダーがほぼ横ばいで定着した。第70回全国カレンダー展（2019年の傾向）では、森林認証紙の使用は19.3%を占め、更に再生紙では34.6%使用されている。
- (3) 近年のカレンダーの製本方式は、天金具式が6割以上を占め主流となっている。環境配慮性の高い製本方式が徐々に浸透してきている。
- (4) 第70回全国カレンダー展（2019年の傾向）の特徴として、シリーズ化した企画でメッセージや世界観が確立したものが数多く見受けられた。
- (5) 卓上型のカレンダーはタテに目が通るようにするが、壁掛け型のカレンダーは、破き易い性質が必要で、紙の目は水平に取らなければならない。

問 34. 「パッケージの機能と特性」について述べられた文章である。空欄に当てはまる正しい語句の組み合わせを1つ選択し、文章を完成させなさい。

パッケージなくして（ A ）は成り立たない。包装の三大機能は、内容物の保護、輸送、（ B ）であるが、最近では店頭での販売促進機能、特に商品情報伝達機能が強く求められている。利便性も重要であるが（ C ）を考慮するとどこまで対応すべきか課題が多い。

	A	B	C
(1)	物流・販売	販売戦略	コスト削減
(2)	流通・販売	流通戦略	環境問題
(3)	商流・販売	プロダクト戦略	社会的経費
(4)	物流・販売	流通戦略	コスト削減
(5)	商流・販売	販売戦略	環境問題

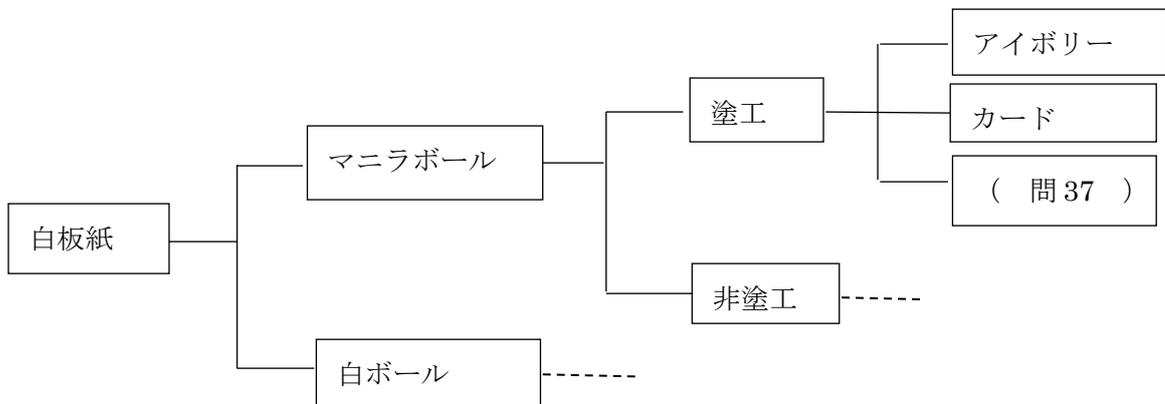
問 35. 下記の文章は「パッケージ製作上のポイント」で述べられた文章である。誤りのある文章を2つ選択しなさい。

- (1) 流通段階 … 水分・湿度による強度低下・変形に注意する。また、内装か外装か、衛生性・保管・輸送・安全性についても考慮する。
- (2) 効果性・販売段階 … 販売対象・販売数量・ニーズ・シーズを把握し、類似商品を調査する。特に販売・販促面と環境面の調和がとれているか、よく考慮する。
- (3) 適性包装 … ISO 適性包装、JIS Z 0108「包装用語」1013では、材料・充填・作業・製函・商品充填機の定義が規定されている。
- (4) 商品特性 … 包装目的・商品規格・重量・商標権（ネーミングやブランド）。法定表記事項を確認して、その他に必要な表記内容を定める。
- (5) 包装に要求される事項 … パッケージに要求される事項は必ず文書で確認する。物性は、測定法・許容数値等を明確にする。特に ISO 取得の企業・職場では実践を心掛ける。
- (6) 使用性・使用者への配慮 … 持ち運び・利便性・易開封・易再封・リサイクル・ユニバーサルデザインを念頭においた配慮が必要。

問 36. 下記の文章は、増補版のパッケージ「パッケージの原材料動向」、「紙・板紙の出荷状況」で述べられた事項である。誤りのある文章を1つ選択しなさい。

- (1) 紙・板紙は、包装用途には再生可能原材料として今後伸びることが期待できる。
- (2) 2018年度の包装・容器出荷数量は、前年比100.0%であった。
- (3) 2018年の材料別出荷数量の内訳では、前年に比べて紙・板紙製品が微減、プラスチック製品が大幅増加となった。
- (4) 材料別出荷数量の2018年構成比では、紙・板紙製品が65.5%、プラスチック製品が19.1%で、紙・板紙製品の構成比がやや増加のほかは、前年と同様な構成比を示した。
- (5) 板紙の需要については、食品分野、家電向けが堅調なことに加え、eコマースの普及等を背景に、増加傾向で推移している。

問 37. 下記の表は「紙器板紙の分類」に記された白板紙の分類表である。空欄に当てはまる語句を下から1つ選択しなさい。



- (1) ノーコートボール
- (2) 高級板紙
- (3) 特殊板紙B
- (4) 一般マニラボール
- (5) コートボール

問 38. 下記の文章は、増補版においてパッケージを取り巻くトレンドについて述べられた文章である。誤りのある文章を1つ選択しなさい。

- (1) 容器包装リサイクル法の特徴は、消費者が分別排出、市町村が分別収集、事業者が再商品化するという役割分担を定めており、事業者が中心となって推進することである。
- (2) 世界の企業は、SDGs への対応を図っている。Sustainable Packaging は、今後のパッケージに対する基本ポリシーである。
- (3) 世界（特に欧州）は、クリーンテクノロジー活用に大きく舵を切っている。紙素材をパッケージに応用展開することは、方向性が一致している。
- (4) 小ロット対応だけでなく、小ロット品を多量に作る工夫が出てきている。デジタル印刷はその代表例である。
- (5) 紙製容器リサイクル推進協議会の資料には「紙製容器包装3R事例」として、用紙の薄肉化・坪量の低減など使用素材の削減が軽量化事例として挙げられている。

問 39. 下記の文章は、「筆記（ノート・便せん）用紙のポイント」を述べたものである。文中の下線部の語句で誤っているものを2つ選択しなさい。

筆記用紙の特徴は、(1) 上質紙に比べて (2) サイズ度が低いこと、及び表面の筆記性が良い（平滑度が (3) 高すぎてペンが滑ったり、反対に (4) 低すぎてひっかかったりしない）こと、消しゴムによる (5) 抹消性がよいことなどである。また紙中の (6) ウォーターマークが著しく少ないことが要求される。

問 40. 増補版において「2017年度の紙製品市場」で述べられた内容である。誤りのある文章を1つ選択しなさい。

- (1) 全日本紙製品工業組合によると、2017年度の紙製品出荷額は、前年度比102.6%。全体の約70%を占める封筒需要が底堅さを見せている。
- (2) 手帳では、近年市場を牽引してきたのは店頭で販売されるパーソナル手帳である。特に年々高まる女性ニーズに応えるメーカー各社の新製品が話題となり、市場を活性化している。
- (3) 封筒市場は、約744億円（前年比度101.6%）と増加した。普通郵便やメール便の利用数は一時減少したが持ち直した。
- (4) 学習帳業界は、高齢者向けに特化した「うすい学習帳」は20%軽量化した本文用紙を使用し、持ち歩きの負担を軽くするなど、各メーカー付加価値をつけた商品を展開している。
- (5) アルバムビジネスの切り口も大きく変化している。新商材として注目されるフォトブックの国内市場規模は2017年には、数量前年比119%と需要拡大している。

問 41. 下記の文章は、「ビジネスフォームの品目別のシェア」について述べられたものである。空欄にあてはまる適切な語句の組み合わせを1つ選択し、文章を完成させなさい。

ビジネスフォーム業界の品目別のシェア（1997年～2010年）の変化において、変化のトップは（ A ）事業で、1%が25%近くまで伸びており、大手では30%を超すところもある。現在の中堅から大手はこの部分が収益の中心となっている。

ビジネスフォームの代名詞である（ B ）は、かつては主力商品だったが、そのシェアも40%以上だったものが2010年現在は20%-30%程度にまで落ちてきている。旧来の伝票類が主力になっている会社ほど、（ C ）などの影響を多く受けているし、利益が出なくなっているのが実情である。

	A	B	C
(1)	ストックフォーム	単票伝票	情報社会化
(2)	OCR・OMR	ノーカーボン紙	印刷方式の変化
(3)	NIP	メーリングはがき	人口減少
(4)	DPS	連続用紙	ペーパーレス
(5)	タックラベル	複合伝票	個人情報の取り扱い

問 42. 下記の文章は、「古紙利用の環境面からの意義」について述べられたものである。空欄にあてはまる適切な語句の組み合わせを1つ選択し、文章を完成させなさい。

紙の原料となるパルプには、「化学パルプ」、「機械パルプ」、「古紙パルプ」の三種類がある。( A )の製造プロセスが最も CO<sub>2</sub> を多く排出し、( B )はそれに比べると CO<sub>2</sub> の排出が少ない。( C )は、その製造プロセスで「黒液」というバイオマス燃料が副産物として発生するので、CO<sub>2</sub> の発生は三つのパルプの中で最も少ない。

	A	B	C
(1)	化学パルプ	機械パルプ	古紙パルプ
(2)	古紙パルプ	化学パルプ	機械パルプ
(3)	機械パルプ	古紙パルプ	化学パルプ
(4)	化学パルプ	古紙パルプ	機械パルプ
(5)	機械パルプ	化学パルプ	古紙パルプ

問 43. 増補版「環境対応」で述べられた「SDGs」の17の分野別目標として正しいものを1つ選択しなさい。

- (1) 持続可能な農業の推進
- (2) 環境に配慮した技術・産業の拡大
- (3) すべての子供に初等・中等教育を
- (4) 気候変動への緩和と適応
- (5) 住み続けられるまちづくりを

問 44. 製本の様式と名称についての記述である。正しい名称を 1 つ選択しなさい。

ページ順に折り揃えた折丁の背を針金や糸で上から全体を貫くように綴じたもの。

- (1) かがり綴じ
- (2) 平綴じ
- (3) 中綴じ
- (4) 無線綴じ
- (5) あじろ綴じ

問 45. 書籍・雑誌でよく使用される判型と用途の組み合わせである。テキストの趣旨に沿わないものを 1 つ選択しなさい。

- (1) 四六判・・・ポケット判辞典、手帳など
- (2) A4 版・・・画集、写真集、女性ファッションなど
- (3) A6 版・・・文庫本、パンフレット、辞典など
- (4) B5 版・・・コミック雑誌、教科書など
- (5) B6 版・・・一般書籍、コミックスなど

問 46. 「ビジネスフォーム」で述べられた文章である。テキストの趣旨に沿わないものを1つ選択しなさい。

- (1) ビジネスフォームは、ユーザーの注文に応じて個別に製造される「オーダーフォーム」と、計画生産して在庫しておく「ストックフォーム」の二種類がある。
- (2) かつては凸版 100%だったビジネスフォーム印刷機は、現在ではオフセット 90%になった。
- (3) ビジネスフォームを引っ張ってきた PPC 用紙も、1991 年をピークにして、下降線をたどり、現在はピーク時の約 70%となっている。
- (4) OCR 用紙とは、OCR あるいは OMR に用いる用紙で、記入されたデータやマークを反射光で読み取って入力するシステムである。
- (5) 最近実用化の進む RF タグは IC タグとも言われ、電波によって情報の読み書きをするシステムである。

問 47. 「印刷製品の版式別出荷額とその変遷」に関する記述である。下線部の語句で誤っているものを1つ選択しなさい。

1980 年から 2017 年にかけて 37 年間の変遷をみると、単色ものや活字本の衰退から (1) 「凸版印刷物」の市場が縮小し、約 3 分の 1 以下にまで落ち込んでいる。「平版印刷物」、(2) 「凹版印刷物」は 80 年代から 90 年代にかけて多色化・(3) 低価格化が急速に進展し、一時約 2 倍まで成長したが、(4) 雑誌の落ち込みもあり近年は減少傾向にある。さらに (5) 産業資材印刷が安定した市場を確保し、「紙以外の印刷物」も約 2 倍以上に拡大展開している。

問 48. 「紙袋の種類及び品種用語」について述べられた文章である。適切な用紙の名称を 1 つ選択しなさい。

無地袋のため汎用性があり様々なユーザーで使用される。規格は 1P (ポンド) ~ 45P があり、国内統一規格となっているため規格袋とも呼ぶ。

- (1) 既製角底袋
- (2) 別注角底袋
- (3) 自動手提袋
- (4) 二次加工手提袋
- (5) 平袋

問 49. 「紙袋」で述べられた文章である。テキストの趣旨に沿わないものを 1 つ選択しなさい。

- (1) 紙袋の製造工程は印刷→製袋→後加工の三段階に分けられる。
- (2) 紙袋の印刷方式は圧倒的にグラビア印刷の割合が高く、紙袋の 80%に及ぶ。
- (3) グラビア、オフセットの油性に対し、フレキソは水を溶剤として使用するため、近年では環境面で注目を集めている。
- (4) 紙袋の紙質としてはクラフト紙が圧倒的に多いが、純白ロール・グラシン紙・コート紙・ファンシーペーパーなども使用される。
- (5) 容器包装リサイクル法では、分別収集とそのリサイクルの促進を目的とし、容器包装の区分を容易に識別できるよう「識別表示」を付けることを義務化している。

問 50. 「情報用紙の技術特性」で述べられた文章である。テキストの趣旨に沿うものを1つ選択しなさい。

- (1) PPC 用紙の主なクレームは重送とジャムで、ジャムは 30,000 枚コピーで 1 回以下とされているほど厳しいものである。
- (2) 裏カーボン複写紙には表面に強度のインキ剥離性、裏面には良好なインキ受理性と印刷適正を与えることが必要である。
- (3) 発色特性は感熱記録紙における最も基本的な性質であり、用途や条件に合わせていろいろなものが使用されている。発色温度の高いものは色の安定が良くないので、減感剤が使用される。
- (4) ノーカーボン紙の中用紙は裏面にマイクロカプセル、表面に顕色剤を塗り、巻き取るために多少のショックでは発色しない。
- (5) インクジェット用紙のインク種類としては、水ベースの染料インク・顔料分散インク・有機溶媒ベースのインク・その他特殊インクがある。現在の主流は水性染料インクである。